

障がいを理解するための実践教室実施申請書

(西暦) 年 月 日

豊田市社会福祉協議会長 殿

学校名	学校
学校長	
担当教諭	アリカナ
電 話	() —
F A X	() —
担当教諭との 連絡可能な 曜日・時間帯	

1. 実施希望月日・時間

									決定日 ※社協記入
第1希望	年	月	日 ()	午前・午後	時	分～	時	分	
第2希望	年	月	日 ()	午前・午後	時	分～	時	分	
第3希望	年	月	日 ()	午前・午後	時	分～	時	分	

2. 実践教室の趣旨・目的

※参加者に何を学ばせたいのかを明記してください。

3. 実践教室開催前後の取り組み内容

(様式 A - 2)

4. 実践教室日程

時 間	内 容	学年・組	参加者数 (名)	場 所		各科目の 担当 教員名
				晴天の場合	雨天の場合	

- ・ 実践教室の開始時間は、午前10時30分以降とします。
- ・ 場所については学校の敷地外でも可能です。

障がいを理解するための実践教室実施申請書

豊田市社会福祉協議会長 殿

学校名	豊田市立福祉小学校
学校長	福祉 太郎
担当教諭	フクシ ハナコ 福祉 花子
電 話	(0565) 31-1294
F A X	(0565) 32-6011
担当教諭との 連絡可能な 曜日・時間帯	月・水・金 16時以降～

1. 実施希望月日・時間

第1希望	2022年 6月 8日 (水)	午前・午後 10時 55分～ 12時 35分
第2希望	2022年 6月 9日 (木)	午前・午後 10時 55分～ 12時 35分
第3希望	2022年 6月10日 (金)	午前・午後 10時 55分～ 12時 35分

2. 実践教室の趣旨・目的

※参加者に何を学ばせたいのかを明記してください。

- ・「障がいを理解するための実践教室」を通して、障がい者の方に対する理解を深める。
- ・思いやりの心を育み、自分自身にできることが何かを考え、実践していこうとする意欲を高める。

3. 実践教室開催前後の取り組み内容

- ①事前学習
- ・様々な「障がい」について本、インターネット等で調べ学習をする。
 - ・「ふくし」とは何かイメージする。
- ②「障がいを理解するための実践教室」を実施
- ③事後学習
- ・自分たちができることを考え、交流会のメニューを考える。
 - ・施設へ訪問し、利用者の方との交流を図る。

(様式 A - 2)

記入例

4. 実践教室日程

時 間	内 容	学年・組	参加者数 (名)	場 所		各科目の 担当 教員名
				晴天の場合	雨天の場合	
例1						
10:55~12:35	車いす体験	6年1組	35	校内	体育館	〇〇
10:55~12:35	要約筆記体験	6年2組	35	教室	教室	△△
10:55~12:35	点字体験	6年3組	35	教室	教室	□□
例2						
10:55~11:40	車いす体験	6年Aグループ	55	校内	校内	〇〇
10:55~11:40	車いす講話	6年Bグループ	55	多目的室	校内	△△
11:50~12:35	車いす体験	6年Bグループ	55	校内	校内	〇〇
11:50~12:35	車いす講話	6年Aグループ	55	多目的室	校内	△△

※実践教室の開始時間は、午前10時30分以降とします。

※場所については学校の敷地外でも可能です。

様式B-1

障がいを理解するための実践教室実施報告書

豊田市社会福祉協議会長 殿

実施日	年 月 日()
学校名	学校
担当教諭	

1. 実践教室について

(1) 実践教室を取り組んだうえで課題と感じたことがあれば記入してください。

--

(2) 講師や社会福祉協議会に対して、要望や意見がありましたら記入してください。

--

2. 学校が取り組んでいる福祉教育について

福祉教育を取り組むうえで課題と感じていることや質問がありましたらご自由に記入してください。

--